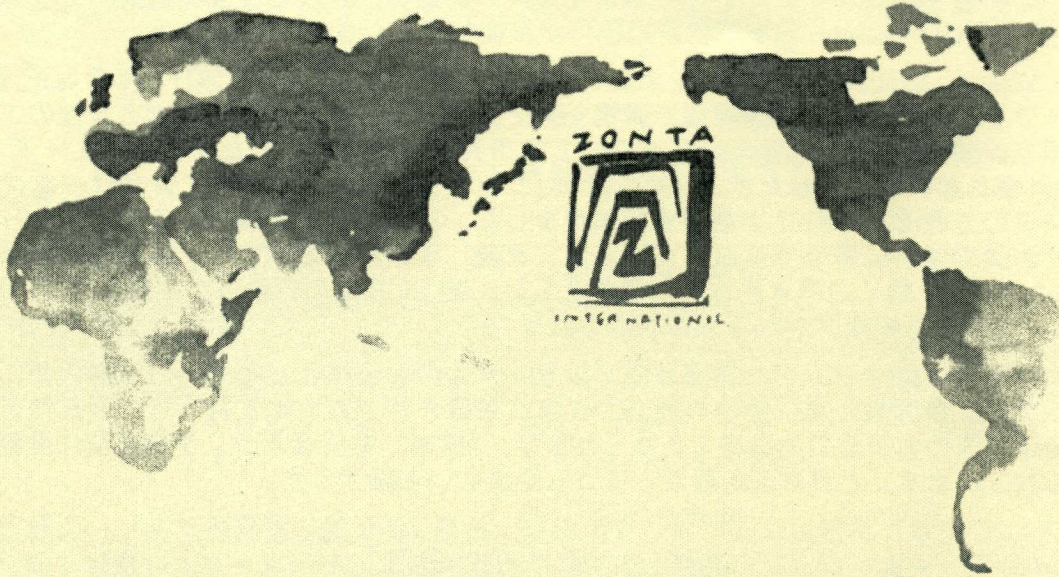


OSAKA・II ZONTA CLUB

大阪II ゾンタクラブ第35号(2013年4月)



巻頭言

今年は大阪II ゾンタクラブ20周年記念の年

会長 河村 さと子



2013年を迎えて、世界各国の政治情勢や経済の動向に変化が見られ、世の中の動きが慌ただしくなってきました。そのことは、次第に私達の生活の様々な側面に影響をもたらすものと思われま

す。そのような不安定な時節ではありますが、桜の花の美しい季節に私ども大阪II ゾンタクラブは、創立20周年の記念式典を行います。

大阪II ゾンタクラブ創立当初より何かとご指導を頂いた写真家の大石芳野先生を改めて基調講演者にお迎えし、20年前の初心に立ち返り、つつましいながらも内容のある温かい記念式典を成功させたいと思います。

大阪II ゾンタクラブ会員諸姉と世界中の人々に輝かしい未来が開けますことを祈って、さらに奉仕活動を進めて参りたいと思います。



2012年9月 例会

女性のエンパワーメントとUN Women

福本 敏子



2012年9月13日(木)、リーガロイヤルホテル「ベラコスタ」において2012年度の第1回の卓話を行いました。国連機関(UN Women)日本事務所所長代行ミユキ・ケルクホフ様が「女性のエンパワーメントとUN Women」と題して、ご講演くださいました。ゲストとして三宅定子ガバナー、早川久仁子地区奉仕委員長、上田恵子広報コミュニケーション委員長、中務和美大阪I国連委員長、好永良子エリア4 AD、大山裕子様(元UN Women日本事務所勤務)が参加してくださいました。

私がぜひUN Womenの代表の方に卓話をお願いしたいと考えましたのは、2011年のお正月でした。テレビのニュースで2010年7月に国連総会で満場一致で誕生した「ジェンダー平等と女性のエンパワーメントのための国連機関であるUN Women」が2011年1月に活動を開始したというニュースでした。UN Womenという耳慣れない名前でしたが。活動方針が「ジェンダー平等と女性のエンパワーメント」と聞き、これは全くゾンタの方針そのものではないかと思いました。日本事務所を調べると、てっきり東京と思いきや、なんと、お隣の堺市にあるではありませんか。早速、事務所にお伺いし、機会があれば、ぜひ卓話をと、お願いしたところ、快くお引き受けいただきました。2011年度の行事予定は決まっていたので、2012年度でという事でお約束いただけました。

ミユキ・ケルクホフ様はオランダのご出身で、オランダ人のお父様と日本人のお母様の間にお生まれになられ、オランダにて多国籍企業に勤務の後2005年来日され2011年5月から、所長代行を務めておられ、ご家庭では二人のお子様のお母様でもあられます。「家事、育児はオランダ領事館に勤務の夫が半分は受け持ってくれています」と日本人主婦からはうらやましいお話でした。

UN Womenについては、本部はニューヨークにあり、世界78ヶ国に事務所があり、活動方針としては1. 女性の政治参画とリーダーシップの拡大 2. 女性の経済的エンパワーメントの強化 3. 女子に対する暴力の根絶 4. 平和構築・安全保障の交渉・復興における女性の全面的な介入 5. 国家の開発計画と予算編成におけるジェンダー平等の推進 6. 政府間機関へのサポートの6点を挙げられました。世界の中で日本は、まだまだジェンダー不平等の状態であるという現実をHDI(人間開発指数)、GII(ジェンダー不平等指数)、世界経済フォーラムのジェンダーギャップ指数、大学教授・国会議員における女性の占有率などを例に挙げられて述べられました。そして、ジェンダー平等を阻む壁として「男は仕事、女は家庭」という日本に依然として根強い性別役割分担意識があり、ジェンダー平等を実現するためには政治的関与、社会通念の転換が必要であると述べられました。そして、最後に「女性のエンパワーメント原則」を推進するために企業の最高経営責任者(CEO)による支持声明への署名をゾンタを通じて一人でも多くの方々に協力を依頼してほしいと結ばれました。

以前に比し、女性の地位は向上してきていると楽観視していましたが、統計のデータやアニメキャラクターにも日本はジェンダー不平等が如実にあらわれていると例を的確に示され、今後のゾンタ活動の重要性を再確認しました。

世界的な組織であるUN Womenの日本事務所が近くにあるという幸運に恵まれ実現した卓話でしたが、このご縁を大切にUN Womenにご指導いただきながら、ゾンタの活動方針である女性の地位向上に向け頑張りたいと思います。



前列左からケルクホフさんと大山さん

大阪Ⅱ ゾンタクラブ設立20周年記念会開催の経過

田中 茂美



このたび当クラブ設立20周年を迎えるに際し、去る2012年5月に実行委員長という身に余る大役を御指名いただき、色々な不安と迷いのなかで皆様の手厚い御協力により、日々をかさねてやっと方向性が形になったように思います。まず、会場の選定は会員一同の賛同により例会を長らくお願いしているリーガロイヤルホテルに決まりました。日時は2013年4月7日の昼ごろと決まりました。次に20周年としてクラブカラーを出せるイベントの選定は、案が多数ある中、設立時に講演をお願いした大石芳野様をお願いすることになりました。決めるべき事柄が多すぎるため2012年7月22日、セントレジスホテルにて第1回目の実行委員会を開催しました。無駄なく、スマートな運営をしようということになり、3時間で式典・講演・祝宴をこなすスケジュールを組むことになり、役割分担と記念会の主旨として「大阪Ⅱ ゾンタクラブのあゆみ」にてこれまでの活動と社会参加について多くの方々に知っていただき、有意義で楽しいひと時をお客様方とともに過ごせるよう工夫をする事といたしました。役割分担も多岐にわたりましたが、会員のパワーと誠実さで何とかこなしていただきました。

次にチケットの販売価格が必要経費・予算との兼ね合いがうまくいかず、最初18000円でしたが、赤字を皆で了承のうえ結局15000円になりました。記念品も試行錯誤の結果、会長の御配慮により、クッキーとベトナム刺繍の小袋となり、「20周年の歩み」は坂本会員のお力に頼る事となり、大石様との折衝は辻会員が一手に担っていただきました。講演の内容も「女性の命：アジアに生きる」と明るいものとなりました。20周年記念の寄付先は長年支援をしてきた「ベトナム女子身障者の自立支援のための職業訓練：刺繍学校」に決まり、宮本会員が多くの労を担っていただきました。宴席での小コンサートとして会長のご高配にてバリトン歌手の方による楽しい音楽が聴ける事となりました。数知れない面倒な業務を西村・久岡・幡山会員が難なくこなしていただきました。皆様の前向きな支援で「20周年記念の会」が成り立つことを改めて実感しました。

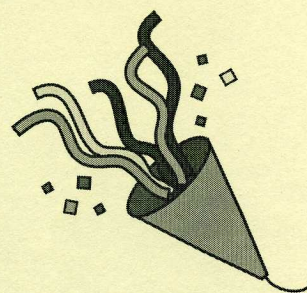
準備の経過

2012年

- 5月 会場と日時決定。2013年4月7日昼
イベントとして大石芳野氏の講演
20周年記念寄付事業としてベトナム身障者女性の自立支援の学校に寄贈
- 6月 記念式典と講演・宴会を行うことに決定
- 7月 予算案・事業内容・タイムスケジュール・プログラム・役割分担を検討
会場 リーガロイヤルホテル
ロイヤルホール (収容 200人可)
チケット料金・ゾンシャン登録料・ゲスト料金について決定
式典のプログラムは約30～40分。
この中に「20周年の歩み」プレゼンを含む
来賓はガバナー等ゾンタ関係とする。
政治家は招かない
- 9月 役割分担決定、チラシ・チケット・参加申し込み、挨拶状の役割決定と実施開始
- 10月 参加申し込み、挨拶状を12月に送り、12月にチラシ等の作成スタート
チケット・登録料について見直し。時勢を考慮し15000円と決定
プログラム作成開始
「20周年の歩み」作成のための資料を集める
胸に付けるコサージュは誕生月に配布したものをリサイクル
大石芳野氏から「アジアに生きる」講演と決定
50分依頼
- 11月 4月7日「11:30開始14:30まで」に予約の取り直し。プログラムの見直し

2013年

- 1月 2月例会までにチラシ・チケット印刷完了
おみやげはクッキー・刺繍小袋は手配完了
司会は芳川諒子氏に依頼
当日のタイムスケジュールの発表
試食会を開催。料理を決定
会場の大まかな設定と必要器機の確認、テーブルの設定
- 2月 月末までに会員は参加人数の通知と振り込みをする
タイムスケジュールの調整
会場設営についての確認作業開始
予算の組み直し
目録贈呈方法確認
招待者リストの確認と集計
記念式典、講演会、祝宴のプログラム印刷
- 3月 具体的打ち合わせ
「20周年の歩み」最終打ち合わせ。プレゼンの確認
出席人数の確認と料理・おみやげの数確認



盛夏の京都

笹岡 厚子



盛夏の京都に食事に行ってまいりました。祇園花見小路から少し中に入ったところで山玄茶というお店です。詳しい地図をあらかじめ頂きましたが、やっぱり迷ってしまいました。河村先生の遠縁にあられる方が御主人の奥様だそうで、禪の三玄が名の由来だそうです。

楽しみにしていたお料理は、汲上ゆば、海ぶどう、蓴菜(じゅんさい)の先附から始まり全10品の懐石、焼物にはのど黒の酒塩焼も出て海の幸山の幸珍品が次々と供され、お味はもちろん彩美しいお料理で、ご主人の故郷滋賀県竜王町のお酒、松の司とぴったりで堪能いたしました。帰りには奥様お手製の素敵なお土産をいただきました。ご主人は前は招福楼におられたそうです。お持ち帰り可能なおみやげに鰻の山椒煮がありましたのでもしやと思いました。後で伺うとやはりそうでした。

せっかく暑い中京都まで行ったからにはと頑張っけて帰りに堀さんと京都国立近代美術館に寄ってきました。江戸の型紙のデザインがいかにもヨーロッパのジャポニズムに影響を与えたかが丁寧な企画展示でよくわかりました。日本の職人の技術力には本当に驚きました。おいしいお食事を頂いて少し知識も増えて楽しい一日でした。

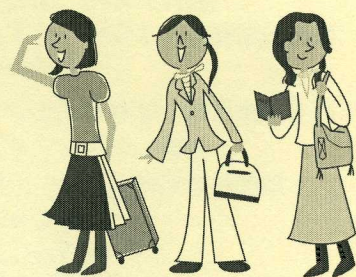




11月3,4日の連休で、壱岐にでかけました。参加者は、企画者の田中茂美、牛田三千子、辻康子、笠木伸子、笹岡厚子、堀知子、芳川た江子、私の8名です。朝8時前の新幹線で、10時過ぎに、小倉につき、門司港のレトロエリアを楽しみました。旧門司三井倶楽部では、アインシュタインが、5泊していて、どうして?と思ったら、船旅で寄港したそうです。お餅ツキを楽しんで、サインも額装してありました。林芙美子の書斎、夫妻の油絵、実家へ送った自筆のはがき(挿絵もあり、きれいな字で書かれていました)など、興味深いものに、出会えました。壇ノ浦の合戦跡、巖流島をみて、門司と下関の近さに吃驚しました。歩いて渡る地下の道があるそうです。お昼は、'茅の舎'で、有機野菜の美味しいお食事を、茅葺の家で堪能しました。博多港からジェットfoilで、1時間20分で、壱岐の'海里村上'に着きました。素晴らしい眺めで湾が、一望でき、ここでも、うに、あわび、クルマエビ、伊勢海老と豪華な海の幸づくしでした。温泉も鉄を含んだ赤い柔らかなお湯の露天風呂で、海を眺めて骨休めができました。

翌日は、壱岐の島をマイクロバスで楽しく観光しました。反省猿そっくりの岩が、断崖にそびえていました。総数280基の古墳も、1基、中に入ることができました。100円の入場料なのに手入れが行き届いて、親切にしてもらいました。博物館も館員の上手な説明で楽しめました。お昼を、'あまごころ庵'で頂き、10分の無駄もないスケジュールをこなして、帰ってきました。

毎回、田中茂美会員の企画力に感心し、皆で頼り切っています。



猿岩を背景に

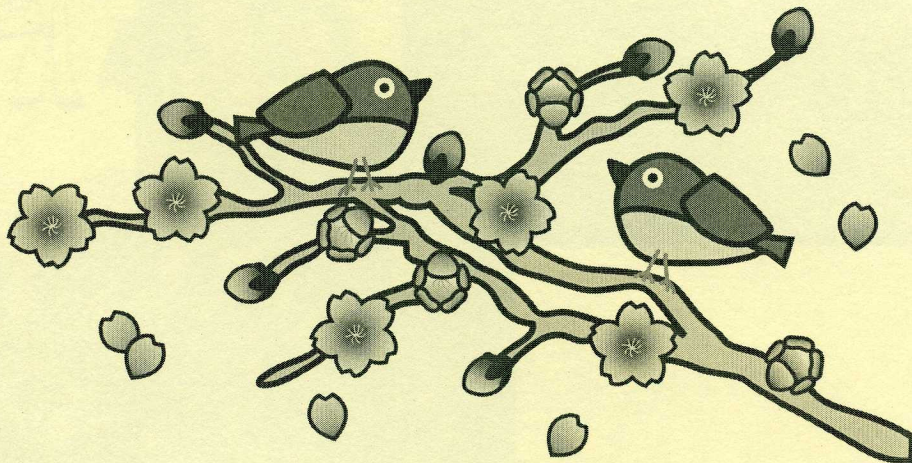
大阪I・IIゾンタクラブ合同新年会に参加して

中塚 淳子



2013年1月17日午後5時30分から7時30分まで花外楼大淀別邸に於いて大阪I・II合同例会が行われました。一昨年に同じ場所で新年会が行われたことを思い出しました。

新年を迎え初めての例会に出席させていただき皆様の晴れやかな顔を拝し嬉しく思いました。まず三宅ADの開会のご挨拶から始まりお食事が運ばれてきました。新春らしく工夫をこらされた美しくおいしいお料理でした。親睦イベントとして大阪Iの方々のフラダンスが披露されました。髪に花を飾りおそろいのムームーで颯爽と出場されびっくり致しました。8名の可愛らしいお嬢様に早変わり、会場はパッと明るくなり爽やかなざわめきが起こりました。次に大阪IIの河村会長がレ・ミゼラブルのテーマソングを唄って下さいました。いつもながら美しい歌声は我クラブの自慢です。宴酣に入った頃、隣席の大阪Iの方が「私いくつに見える?」と問い掛けられ、これは少し若く言わなくっちゃと思い10歳ほど若く申し上げましたが、実際は思ったよりずっと高齢でいらっしゃいましたのでびっくりすると共に良きお手本の方にお会いすることができ、励みになりました。和やかな雰囲気の内、閉会となりました。今年は大阪IIゾンタクラブ20周年を迎えます。皆さまと共に楽しく、また行事が盛会に終わりますよう頑張ってお参りたいと思います。



2012年度の活動

大阪Ⅱゾンタクラブの2012年度(2012.6.1—2013.5.31 まで)の活動

月	日	曜	場所	内容
2012				
6	14	木	リーガロイヤルホテル ベラコスタ	2011年度・決算報告・審議
				2011年度・年間活動報告・各委員会報告
				2012年度・年間活動計画協議
				20周年記念事業についての協議
7	19	木	リーガロイヤルホテル ベラコスタ	2012年度・予算審議
				2012年度・年間活動計画
				委員会所属と各委員会活動計画
				20周年記念事業についての協議
*会長・副会長等 世界大会出席のため第3木曜に開催				
7	22	日	ホテルセントレジス	20周年記念事業についての役員会
8	5	日	親睦納涼会	京都祇園「山玄茶」にて会食
				20周年記念事業についての役員会
9	13	木	リーガロイヤルホテル ベラコスタ	卓話：みゆき・ケルクホフ氏「女性のエンパワーメントとUN Women 機関について」
				20周年記念事業についての協議
10	11	木	リーガロイヤルホテル ベラコスタ	20周年記念事業についての協議
				具体的準備開始
11	3	土	秋の親睦旅行	「壱岐の美味と温泉・歴史の旅」(2日間)
	4	日		
	8	木	リーガロイヤルホテル ベラコスタ	新入会員 白石多津子氏紹介
				卓話：白石多津子氏「社会保険労務士となって」
			20周年記念事業についての協議	
30	金	育徳園Ⅱ	銭太鼓慰問	
12	8	土	忘年会	場所：大阪北新地「スエヒロ」(すき焼き)
2013				
1	17	木	大阪Ⅰとの合同例会(新年会)	場所：「花外楼・大淀別邸」(ラマダホテル)
2	14	木	リーガロイヤルホテル ベラコスタ	20周年記念事業についての協議
				指名委員選出
				次年度奉仕先検討
3	8	金	リーガロイヤルホテル ベラコスタ	ゾンタローズデーイベント卓話：大山裕子氏「日本における外国人女性へのDVの実態と支援」
				20周年記念事業についての協議
				次期会長・役員選出
4	7	日	リーガロイヤルホテル ロイヤルホール	大阪Ⅱゾンタクラブ20周年記念式典・祝賀会
5	9	木	リーガロイヤルホテル ベラコスタ	20周年記念事業総括
				2013年度活動計画検討

入会に寄せて

白石 多津子



人の縁とは不思議なもので、必要な時に必要な人と会うのだそうです。それは一瞬早すぎず、一瞬遅すぎないその時に。

大阪Ⅱゾンタクラブ入会へのきっかけは、あるパーティで大阪Ⅰゾンタクラブの藤井次子先生にお目にかかった時から始まります。初対面の私は大先輩にその日にお礼のメールを差し上げました。

翌日には思いがけず、藤井次子先生からお電話を頂き、そのお優しいお声と温かさに思わず身の上話を聴いて頂いておりました。阪神大震災で自宅と店が倒壊したこと、夫をなくしたこと、そして孤独の中で社労士試験を目指したこと・・・大きな力で導かれたようなお電話でした。人との出会いや縁にはすべて何らかの意味がある、「人の出会いに偶然はなく、すべてが必然である」という人もいます。それだけ人の縁は大切なものです。そんな風に思えるようになったのも、自分は孤独で独りぼっちだと思う時期があったからです。今から思うと孤独な時期は何だったのだろうか？人生や生きることについて深く考えるようになる、悲しみや辛さを抱えた人の心を理解できるようになることを学ぶ時間であったことに気づきます。

ずっと若かった時に、どんな人でも必ず自分に何か一つ教えを持ってきてくれるのだと教わったことがあります。それは、弟や妹、自分の子供でもそうです。学歴の善し悪しや年齢性別、生まれ、国などすべて関係ありません。出会う人すべてが、自分より何か一つ秀でたものを必ず持っているのだと教えられました。多分、その頃は謙虚さが足りなかったのかもしれませんが。それを見て戒めにそんなことを教えていただいたのでしょう。

今まで当たり前のようにあった縁がなくなったり、まったく新しい縁に恵まれたり、過去に途絶えていた縁が再び現われたり。本当に不思議です。何か見えない大きな力が動いているかのようです。そう思うと、すべての縁がとても大切なものに思えてきます。たとえそれが、辛い記憶を呼び起こすものとしても、魂を成長させるために、必要な縁だったのです。

そしてそれが、こころに大きなトラウマを作り、どうしてもそこから抜け出せないように思えたとしても、やっぱり今生での目標を達成するために必要な縁だったのです。いろんな縁に囲まれながら、人は魂を成長させるのだと感じます。

大阪Ⅱゾンタクラブへのご縁を頂いたことに感謝し、少しでも皆さまのお役に立てますよう、新たに歩み出したいと思います。どうかよろしくお願いします。

編集後記

大阪Ⅱゾンタクラブが20周年を迎えました！

右も左もわからない状態からスタートして、SOMクラブの大阪Ⅰゾンタクラブをはじめ、諸クラブの皆様方のご指導ご鞭撻をいただきながら、一步一步あゆみ続けてきて今日に至りました。個性豊かなメンバーがお互いを生かし合いながら、仲よく身の丈に合った奉仕活動が続けてこられたことが私達の何よりの宝です。

これから10年先20年先を見据え、知恵を出し合って勇気をもって活動し続けていけますように、皆で協力していきたいと改めて気を引き締めています。

20年の節目に広報誌35号の編集に携われたえにしに感謝します。

辻 康子